

職場のいじめ・ハラスメント問題に対して 労働組合はどう取り組んでいくのか

安全センター

【発行】
尼崎労働者安全衛生センター
【連絡先】
〒660-0802
尼崎市長洲中通 1-7-6
TEL・FAX 06-4950-6653



1,890 円（当センター割引あり）

一〇月二五、二六日にかけて全国安全センター総会が鳥取で開催され、尼崎安全センターからは四人で参加しました。その時に行われた記念講演のテーマは「職場のいじめ、ハラスメントにどう立ち向かうか」現状と対策」でした。尼崎安全センターでは九月総会時に特別講演「増えつつけるメンタル不調を改善する」を企画し、又一〇月定例会交流会では「各職場のメンタルヘルス状況・対策」をテーマとして交流しました。

今号では近年大きな課題となつて
いるメンタルの問題についてまとめ
てご報告いたします。

第一級課題です

近年の精神障害の労災請求・支給決定状況は右肩上がりである傾向と同様に、二〇一三年度の都道府県労働局総合労働相談コーナーへの相談内容で最も多いものがいじめ・嫌がらせに関する事で、全体の約二〇％（約六万件）を占めます。二〇一〇年度は全体の五・八％であり、急激な増加が見られます。

そのように深刻化する問題であるにも関わらず、厚生労働省が行った

図 11 日本の労使の取組み
パワハラを受けた後の対応

「何もしなかった」が46.7%→相談できる体制作りを！

		(n)	人事等の社内相談窓口 に相談した	社内の相談窓口 に相談した	社内の同僚に相談した	社内の上司に相談した	労働組合に相談した	会社窓口に相談した	会社とは関係のない 専門家に相談した	弁護士に相談した	公的な機関に相談した	しばらく会社を休んだ	会社を退職した	その他	何もしなかった
全体		2279	3.9	1.8	14.6	13.6	2.4	1.4	2.3	0.9	2.1	5.4	13.5	12.2	46.7
性別	男性	1325	2.9	1.8	11.2	10.7	2.6	1.5	2.3	1.1	1.9	5.7	10.1	10.7	53.5
	女性	954	5.2	1.7	19.3	17.5	2.0	1.2	2.4	0.7	2.4	5.1	18.1	14.2	37.3
年齢	20才～29才	442	3.6	2.7	19.9	19.0	2.0	1.1	2.9	0.5	2.3	6.6	20.1	7.2	42.1
	30才～39才	666	3.9	2.3	17.0	12.8	3.6	2.4	2.7	1.1	3.2	5.6	13.5	11.1	45.0
	40才～49才	526	4.9	1.1	12.7	14.1	1.7	0.8	2.7	1.1	2.3	6.8	11.8	11.2	50.0
	50才～64才	645	3.1	1.1	9.9	10.2	1.9	0.9	1.2	0.9	0.8	3.4	10.2	17.4	49.0
性・職種	管理職	240	3.3	1.3	10.4	10.4	2.5	0.8	1.7	1.3	2.5	3.3	2.9	10.0	60.0
	男性正社員	946	2.5	1.9	12.1	11.2	3.1	1.8	2.3	0.8	1.8	6.2	9.5	10.4	52.5
	女性正社員	522	4.8	1.3	20.1	17.8	2.1	1.1	3.1	1.1	2.9	4.8	12.6	14.6	40.8
	男性正社員以外	157	3.8	1.9	8.3	8.9	1.9	1.9	3.2	1.9	2.5	5.1	24.8	15.3	45.2
	女性正社員以外	414	6.0	2.2	18.1	17.1	1.2	0.7	1.4	0.2	1.4	5.8	25.4	13.3	33.8

厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査（従業員調査）」（平成24年12月12日）

一〇月三〇日の定例交流会で市職労から報告を受けました。年度内九〇日間付与されている病気休暇の原因疾患名で、最も多かったのは「精神及び行動の障害」（二六％）であり、その内八割以上が三日以上の長期療養者となっているという事です。

公務・労働災害が私病かについては安易に断定できませんが、職場でパワハラ・いじめが深刻な問題となっている今、完全に切り離して考えることが難しい

活用しよう！

安全衛生委員会を

問題に取り組んでいないという結果がでました。左図の通り、パワハラを受けた労働者が労働組合に相談した件数は一〇〇人中二・四人と極くわずかです（「何もしなかった」四六・七％！）。

相談件数の最も多い分野となつて
いる一方でその相談体制や対策が全
く不十分であり、労働組合・企業と
しての第一級課題と言えるのではな
いでしょうか。

九月の安全センター特別講演時に講師の竹村隆太医師はメンタルヘルス不調者には「周りの理解・丁寧な関わりが大切」と言いました。各労働組合でもメンタルヘルス問題の取り組みを深めていきましょう。

職種：配達業	病名：不安障害
バイクで荷物を宅配していたとき、交差点で走行中の車と衝突し、頸髄損傷を負った後、不安障害を発症した。	
職種：作業員	病名：うつ病・パニック障害
入社後9ヶ月ほどして、上司のセクハラ・パワハラ行為が始まった。社長に言っても相談に乗ってもらえず、受診した病院でうつ病・パニック障害と診断された。	
職種：配達業	病名：うつ病
業務中に職場での嫌がらせ（暴言・暴力・無視）により、体の異変があり、約1年後受診したところ、うつ病と診断された	
職種：運転手	病名：統合失調感情障害・抑うつ神経症
待機中、他の運転手と口論になり、胸ぐらをつかまれて、首を絞められた。	
職種：販売員	病名：心因反応
店舗のバックルームで、商品整理を行っているときに、男性従業員に体を触られ不眠・対人恐怖になり、受診したところ心因反応と診断された。	

最近の精神疾患労災請求内容から

1) 防火パネルRの断熱材
ダイロートン : 大建工業㈱製 副資材として白石綿1～4%含有

2) レアフォーム鋼板の断熱材
石綿炭酸カルシウム発泡材 (レアフォーム) : フジ化成工業㈱製 白石綿2.5%～10%含有

3) フェルトンダンネットの断熱材
フェルトン : ニチアス㈱製 白石綿90%含有